

教育委員会の所管事務に係る  
自己点検・評価報告書  
(平成 26 年度事業分)

平成 27 年 10 月

西海市教育委員会

## 目 次

○教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について	1
○学識経験者における所見	2～8
○自己点検・評価一覧表	
1 教育委員会の活動状況について	9～11
2 教育委員会が管理・執行する事務について	12～18
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について	
1. 生きる力をはぐくむ学校教育の実現	
(1) 能力や個性をのばす教育の推進	20～23
(2) 豊かな心と規範意識の育成	23～24
(3) 健康で安全な学校生活の実現	24～25
(4) 教職員の資質の向上	26
(5) 幼児期の教育の振興	26～27
2. いつでもどこでも学べる生涯学習の推進	
(1) 学習環境の充実	28
(2) 公民館活動の活性化	29
(3) 人権・同和教育の推進	29～30
3. 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上	
(1) 家庭の教育力の向上	31
(2) 学校・家庭・地域の協働	31
(3) 青少年の健全育成	31～32
4. 安全・安心を確保する教育環境の構築	
(1) 安全・安心を確保する教育環境の実現	33
(2) 学校施設の質的改善	33～35
5. 地域を支える文化・芸術、スポーツの振興	
(1) 文化・芸術活動の推進	36
(2) 文化財の保存・活用	37
(3) 活力あるスポーツの振興	37～39
(4) スポーツ環境の充実	39～40

## 教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定により、毎年、教育に関して学識経験者の知見を活用し、その権限に属する事務（教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することになっています。

そこで、本市教育委員会においては、昨年度（平成 26 年度）における所管事務について、平成 23 年度に社会情勢の変化、計画の進捗状況などを的確に反映した施策の実施を目的に見直しを行った「西海市教育振興基本計画」の施策体系に沿って、自己点検及び評価を行い、その報告書を作成いたしました。

また、点検・評価に伴う学識経験者の知見の活用については、元活水女子大学文学部教授の橋川文次先生、元西海中学校校長の妻鹿 実先生のお二人にそれぞれ所見をいただいております。

自己点検・評価にあたっては、全ての項目にわたって 3 段階とした自己点検評価基準について、「①出来ている、②概ね出来ている、③もう少し」の判断基準の中で、その判断を行った根拠を可能な限り、数値目標を踏まえながら「内容等」の欄に詳しく記載しております。

次に、教育委員の活動に関しましては、委員が可能な限り研修会へ参加するなど、課題・検討事項の解決、研究に積極的に取り組みました。「開かれた教育委員会」を目指し、委員会審議内容の情報公開や情報発信により、積極的に説明責任を果たす必要があり、そのための活動内容の充実や情報発信方法の検討が必要であると考えております。引き続き、教育委員会ホームページに会議開催予定及び議事録を公開するなど、効果的な情報発信に努めてまいります。

また、市長との連携につきまして、26 年度から意見交換会を開催して、密接な連携が出来るよう努めております。

一方、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務に関しては、西海市教育方針及びこれに基づく西海市教育振興基本計画の精神並びに施策に沿いながらも、しっかりと市民のニーズに答えているかを検証しつつ、重要事業、優先事業の重点化した取組を行うべきであると考えております。

最後に、西海市教育振興基本計画にも掲げている P D C A（Plan-Do-Check-Action）サイクルの実践は堅持しながら、今回の点検・評価の実施に伴い明確になった課題については、学識経験者の意見を真摯に受け止め、改善すべき点は見直しを行い、本市教育行政の一層の充実を図って参ります。

平成 27 年 1 0 月

西海市教育委員会

## ○学識経験者における所見

西海市教育委員会が平成 26 年度の所管事務について行った自己点検及び評価に対する私の所見を述べさせていただきます。

まず総評として、西海市教育委員会では、西海市教育振興基本計画の体系の作成において、その基本的考え方として、次の 2 つを設定されています。その 1 つとして、「健康」をキーワードに生涯を通じて学び続けることができる教育環境を実現すること。次に「PDCA サイクル」を重視し、より実態に即し、かつ、効果的な教育の実現を目指すこととされています。このような考え方のもとに、教育基本法をはじめとする関係法令、長崎県教育方針等に則り、さらに「今後予想される本市の動向」や「本市の教育を取り巻く現状と課題」等を明らかにして「西海市教育方針」としてまとめ、その具現化を図っておられます。また、年度ごとの実践結果の検討と次年度に向けての計画立案を繰り返し、ここに平成 26 年度における所管事務について「西海市教育振興基本計画」の施策体系化に沿って、自己点検及び評価を行い、その報告書として作成されたところです。

さて、各小項目ごとの自己点検及び評価の記載内容については、それぞれの内容ごとの所見を述べることにし、ここで全体を通しての所見を少々述べさせていただきます。

私は、ここ数年本市における教育振興基本計画の自己点検及び評価に接する機会を得てまいりましたが、この間、教育行政を担う者として使命感と熱意に溢れる職員の皆様の姿勢に深く感動いたしました。回を重ねるにつれて、教育行政の評価の在り方や考察の仕方、その結果を生かす方策等を着実に会得され、今回の評価・点検の内容は、その結果の凝縮されたものと言えると思います。

このような状況の中ではありますが、小項目ごとの成果指標の捉え方設定の在り方について敢えて一言述べさせていただきます。自己点検・評価の報告書の多くの部分において、成果指標そのものや、それを見極めるいわゆる「目じるし」の設定が「数」「量」の表現に偏っていないか。例えば、ある事業の成果を見極めるための成果指標として、参加者の数（多・少）によるものではなく、参加した市民の満足度、興味関心、ニーズ等のいわゆる「心情」の面も考えてよいのではないのか。即ち「数量」のみでなく「質」の側面も取り入れることを考えてみてはどうかということです。ある事業の成果を可能なかぎり多面的に捉えて、よりの確な事業点検・評価に結びつける工夫が望ましいかということです。

以下、特に指摘しておきたい項目について所見を述べたい。

### 1. 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長が委任されている事務）

#### (1) 生きる力をはぐくむ学校教育の実現

##### ① 能力や個性を伸ばす教育の推進

<学力の向上>

○ 教育指導の中核として「将来の生き方」を捉えた考え方が有益適切である。キャリア教育の具体的な内容設定が期待される。

○ 「夢を実現させるための底力とは」を「子どもの姿」として示し、その育成のために実践した体験活動の具体例を示すと、評価①の根拠がより明確になる。

- 今後とも各学校とPTAとの連携・協力の効果的な在り方を探し、学習への意欲・習慣化の向上が期待される。

＜特別支援教育の充実＞

- 年度ごとの自己点検・評価の効果とその考察を的確に捉え、それが次年度の取り組みに有益適切に生かされている。特に、特別支援教育コーディネーター、学習支援員、補助員のみを対象とするのではなく、全職員を対象とした研修の場のテーマに設定した取り組み、また、専門性の高い講師を招いての本市のニーズに応える研修内容の設定の工夫など、極めて望ましい先進的な実践がなされており、今後一層の発展が期待される。
- 特別支援教育補助員の導入を図ることによって、学級集団の学習規律の確立と学校生活の安定・充実が図られている。本事業の趣旨を的確に捉えた実践が高く評価される。
- 他市町の専門機関の地域支援事業の活用の在り方が優れており、その効果が大きい。教職員の指導力向上と同時に、西海市における特別支援教育に対する関心やその必要性、重要性の意識の高揚に多大の効果をもたらしている。今後一層の充実・発展が期待される。
- 就学指導委員会の判定を受けた後、判定に基づいて保護者との相談を深めることは、大変重要な就学支援であり、教師の使命感と教育愛が求められるところである。本市の熱意ある実践は高く評価される。

② 豊かな心と規範意識の育成

＜読書活動の推進＞

- 西海市においては、中学校に図書司書の配置を積極的に進められ、子どもと教師の読書活動、図書活用の活性化が図られ、その効果が見られる。地道で熱意のある取り組みが高く評価される。
- 古い図書等の整理作業を積極的に進め、より必要な図書の整備への努力が着実になされており、子どもや教師の図書活用の意欲が高まるものと期待される。

＜不登校の子どもなどへの支援＞

- 西海市においても適応指導教室を設置し、当該児童生徒及び保護者への相談・指導体制づくりに努力されている。将来の学校復帰を念頭において、一人ひとりの実情を踏まえた適切な対応がなされている。今後も当該児童生徒と保護者の両面において、心情を大切にされた支援が期待される。

③ 健康で安全な学校生活の実現

＜学校給食・食育の充実＞

- 地産地消の考え方が浸透しており、地元産の食材による学校給食の運営に努力されている。食育の充実のための教育活動と融合された指導により、子どもの食への関心の一層の高まりが期待される。

④ 幼児期の教育の振興

＜幼・保・小接続教育の推進＞

- 幼・保・小の接続への努力はなされているが、教職員同士の情報交換を通じて共通の課題の設定、さらに本市の幼児・児童生徒に見られる「よさ」を見出し、そこを伸ばす

ための共通点を明確にして、研修（研）テーマを設定する創意工夫を望みたい。

(2) いつでもどこでも学べる生涯学習の推進

① 学習環境の充実

<図書館ネットワークの推進>

- 図書館システム導入は、市内の図書館蔵書数の把握など、図書館の運営管理の効率化をもたらすことをはじめ、読書に対する市民の関心を高め、読書活動の活性化に結びつくものと考えられる。今後一層の充実が期待される。

<図書サービスの向上>

- 図書ボランティアの活動の場として設定している「おはなしの会」や「親子読書のつどい」は、大人や子どもの読書への関心を高め、読書を通じて子どもの情操を深め、親と子の心の世界を広げる意味で極めて優れた取り組みであると考え。今後一層の充実を期待する。

(4) 安全・安心を確保する教育環境の構築

① 学校施設の質的改善

<学校の情報化の充実>

- ICT化サポート支援員の配置は、大変有益適切な事業であると考え。教育機器等を導入・設置することは手段であって目的自体ではないと考えられる。目的は、それらのもつ本来の機能（効果）を十分発揮させ、その結果として子どもの学習効果を高め、学習への意欲を引き出すことであろう。この点から、ICTサポート支援員には大きな働きとその成果が求められると考える。本事業の今後の充実・拡充が求められる。
- 本市においては、再生可能エネルギー活用施設設置予定校が何校あるのか。今後とも設置校を増加させる予定であれば①の評価でよいのか。

(5) 地域を支える文化・芸術、スポーツの振興

① 文化・芸術活動の推進

<文化・芸術と触れ合う機会の創出>

- 西海市における文化・芸術活動の推進を目指して優れた文化・芸術イベントの開催、文化施設の整備活動、文化活動支援事業の推進、地域単位のみでなく全市的な文化祭等の開催、さらに文化・芸術活動の母体であり、活動の原動力となる文化協会の支援や会員の加入促進等と極めて統括的で先進的な施策の策定、実施に努力しておられる姿に対して敬意を表し、高く評価します。これからの着実な実践と一層の発展を期待します。

② 文化財の保存・活用

<文化財の保存・活用>

- 本市においては、「西海市文化財・伝統文化」の発掘・分析・展示・保存等に意図的、計画的に取り組まれ、それらの体系化・分類・内容等の研究を精力的に進めてこられた。これまでの各町ごとの取り組み結果をここに確かなものとして集大成され、市民全体への周知はもとより、県内外に配布して、西海市の文化財として広く週知を図ってこられた。これまでの努力に深く敬意を表し、高く評価します。今後、さらに確立された西海

市の文化財を大切に保存・継承し一層確たるものとされるよう期待します。

③ スポーツ環境の充実

<スポーツ環境の充実>

- 本市においては、活力あるスポーツの振興を目指すために生涯スポーツの振興を根底に置き、スポーツ指導者の育成、競技力の向上、さらにスポーツ環境の充実に努めている。スポーツ環境としては、施設の整備充実・スポーツ情報の提供、各種協議会・研修会の設定など「人」と「物」の両面から調和のとれた施策の推進がなされている。今後においては、これらの推進体制のもとに、市民（人）に、いかにして体育スポーツへの興味・関心、体育スポーツの必要性、体育スポーツに親しむことの「よさ」を実感させることが出来るかが「課題」であろう。行政に携わる者の情熱と英知によって、諸施策が実現することを期待する。

平成27年10月 9日

橋川文次

西海市教育委員会が平成 26 年度の所管事務について行った、自己点検及び評価に対する私の所見を述べさせていただきます。

まず総評として、西海市教育委員会は、平成 21 年度から「西海市教育振興基本計画」に沿い、「生きがいと未来を創造する教育の里づくり」を目指し、「協同の精神」を基盤として明確な教育方針を設定し、教育行政の推進が成されています。

評価項目では、教育委員会の活動状況、管理・執行する事務に関しては、21 項目中 19 項目 (91%) が「出来ている」、教育長に委任する事務に関しては、「学校教育」「生涯学習」「青少年の健全育成」「安心・安全の教育環境」「文化・スポーツ活動」の 5 つの中項目、さらに 17 の小項目を設け、さらに 125 項目を 3 段階で評価する成果指標を設定し、自己点検・評価がなされ、75 項目 (60%) が「出来ている」、39 項目 (31%) が「概ね出来ている」という達成状況も具体的で正確に把握されている成果から、設定分野で各課がその実現に向けて真摯な職務遂行が推進されていること、さらに平成 26 年度の成果や継続実施中の推進状況を把握し、今後の教育行政に活かそうと考えられていることにも素晴らしさを感じます。

今後、西海市の教育方針や各学校教育目標の実現に学校教育課、社会教育課、教育総務課の協力・連携が重要であり、西海市教育委員会の考えを一致・一貫させ、適切な指導助言を徹底させ職務遂行していくことが重要かと思えます。そのような教育行政が西海市の発展と西海市の児童生徒の成長の大きな力になると思えます。

平成 26 年度の西海市教育委員会の自己点検・評価を単なる実態把握に留めず、私の所見が今後の西海市の教育活動推進に少しでも役立てば幸いです。

以下、特に指摘しておきたい項目について所見を述べたい。

## 1. 教育委員会の活動及び管理執行事務

### (1) 教育委員会の活動状況について

- 自己点検・評価の傾向から「西海市教育振興基本計画」実現に向け、具体的かつ計画的な推進がなされ、各項目においての成果に繋がっていることが感じられます。
- 教育委員会が中心となり、地域及び各種団体との意見交換の場を充実させ、市制 10 周年経過を機に今までに増して市内 5 町の枠を超え、地域間交流などを積極的に提案・実践し、地域・市民の力を終結した教育行政の推進を期待しています。

### (2) 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）

- 教育委員会が計画・実践・指導・管理・執行する事項が多岐に亘っている中で、すべての項目で「①出来ている」の評価が自信を持って出来ている状況から、日常の職務に対する取り組みに頑張りが見え、素晴らしさを感じられます。
- 学校適正配置で地域が当初、心配されていた諸問題に関する苦情などの有無の把握やそれらに対して行った対応等がどうなっているか、統合に携わった者として気になっています。

## 2. 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長が委任されている事務）

### (1) 生きる力をはぐくむ学校教育の実現



① 能力や個性を伸ばす教育の推進

- 学力向上に向けての研究授業の実態は、すべての学校で児童・生徒や地域の実態を考慮した内容で実施され、特色ある学校づくりも併せて充実していると思います。
- 学力検査と学習意欲調査の結果から児童・生徒の学力を把握し、現場との連携を十分に取しながら対策を講じ、学力向上に結びつけてほしいと思います。特に家庭学習の充実が大きな鍵を担っていると思います。

② 豊かな心と規範意識の育成

- 豊かな心と規範意識の育成は、毎日の学校・家庭生活の中で感謝、思いやりなどの人間尊重の指導を徹底させることです。そのために教師と児童・生徒の良好な人間関係の構築と家庭・地域との協力・連携の施策も考慮した内容での指導・実践を期待します。

③ 健康で安全な学校生活の実現

- 部活動での外部指導者導入は、学校現場では必要だと考えます。学校の方針を十分理解してもらい、担当教員との連携の下に進めてほしいと思います。
- 学校給食の食材において地産地消に常に気を配っていること、学校栄養職員による給食指導の充実など、とても素晴らしいことだと思います。

④ 教職員の資質の向上

- 市教委主催の研修会は内容も工夫して実施され、各学校の授業研究も活発で、指導主事の派遣でその充実さが伺われます。

(2) いつでもどこでも学べる生涯学習の推進

- 児童・生徒の健全育成には、公民館活動の取り組みによる地域力も大きく関わっています。地区公民館活動の充実のために市教委の積極的な関わりを期待します。

(3) 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上

- 家庭における教育力の低下が指摘される昨今、PTAも含め学校・家庭・地域が一体となる指導の充実が大切かと思えます。

(4) 安全・安心を確保する教育環境の構築

- 学校適正配置に伴い、通学範囲の広域化でスクールバス利用の児童・生徒が増え、通学時における事故発生防止に向け、通学路の整備と安全指導の徹底などが今後の大きな課題だと思います。また廃校後、現在も利用されていない校舎跡地の有効的な活用も大きな課題として、早急に進めることが必要かと思えます。

(5) 地域を支える文化・芸術、スポーツの振興

- ここ数年、体育協会との連携のもと「長崎がんばらんば国体」成功に向け、市民総参加の取り組みがなされ、素晴らしい大会で終了したことに敬意を表します。この機会を逃さず市民の生涯スポーツ充実を根付かせてほしいと願っています。

平成27年10月 9日

妻 鹿 宛

---

## 1 教育委員会の活動状況について

---

自己点検評価基準 (①出来ている ②概ね出来ている ③もう少し)

中項目	小項目	26年度	25年度	内容等	点検評価
1 教育委員会の構成	① 構成数	5人	5人	うち、小中学校の保護者 1名	—
	② 平均年齢	60歳	60歳	55歳・1名、56歳・1名 58歳・1名、63歳・1名 66歳・1名 平均年齢 60歳 (平成27年3月31日現在)	—
	③ 性別	男性 2名 女性 3名	男性 2名 女性 3名		—
2 教育委員会会議の運営及び情報発信	① 会議開催数	13回	14回	定例教育委員会を12回、臨時教育委員会を1回開催した。	①・2・3
	② 会議傍聴者数	14人	3人	教育委員会会議の開催について、市広報誌、教育委員会ホームページ上に掲載するなど会議開催の周知を図った。(平成23年4月よりホームページ公開)	1・②・3
	③ 議事録の公表状況	12件	12件	教育委員会会議録をホームページで公開した。	①・2・3
3 市長との連携	① 意見交換会の状況	2回	0回	9月、3月定例教育委員会後に実施。	①・2・3
4 教育機関等との連携	① 学校への訪問	9回	13回	別紙のとおり、9回の学校訪問を行い、延べ数で36名の教育委員の出席があった。 (参加率：80.0%)	①・2・3
	② その他社会教育施設への訪問	1回	0回	大瀬戸町・大島・崎戸の社会教育施設の視察	1・②・3
	③ 長崎県教育委員会との意見交換	3回	4回	別紙のとおり、県内で開催された3回の研修会に参加した。 (参加率：86.6%)	①・2・3
5 教育委員の自己研鑽	① 研修会への参加状況	3回	2回	別紙のとおり、県主催の大会に参加した。	①・2・3

### 小中学校訪問状況

年 月 日	曜日	学 校 名	参加委員数	備 考
平成 26 年 4 月 8 日	火	市内小学校	3 名	入学式
平成 26 年 4 月 8 日	火	市内中学校	4 名	入学式
平成 26 年 9 月 19 日	木	白似田小学校	4 名	
平成 26 年 10 月 10 日	金	西海南小学校	4 名	
平成 26 年 10 月 14 日	火	大瀬戸中学校	5 名	
平成 26 年 10 月 16 日	木	大島東小学校	4 名	
平成 27 年 1 月 27 日	月	大崎中学校	3 名	給食週間
平成 27 年 3 月 18 日	火	市内中学校	5 名	卒業式
平成 27 年 3 月 19 日	水	市内小学校	4 名	卒業式
計			36 名	

### 長崎県教育委員会との意見交換

年 月 日	曜日	研修会名称	参加委員数	備 考
平成 26 年 5 月 20 日	火	長崎県市町村教育委員連絡協議会総会及び研修会	3 名	
平成 26 年 11 月 6 日	木	長崎県市町村新任教育委員研修会	5 名	
平成 26 年 11 月 7 日	金	長崎県市町村教育委員研究大会	5 名	
計			13 名	

### 社会教育施設への訪問状況

年 月 日	曜日	施設名称	参加委員数	備 考
平成 26 年 10 月 8 日	水	大瀬戸、大島、崎戸の社会教育施設の視察	3 名	
計			3 名	

### 研修会への参加状況

年 月 日	曜日	研修会名称	参加委員数	備 考
平成 26 年 5 月 20 日	火	長崎県市町村教育委員連絡協議会総会及び研修会	3 名	
平成 26 年 9 月 16 日	火	地区別教育長合同研修会	1 名	
平成 26 年 11 月 6 日	木	長崎県市町村新任教育委員研修会	5 名	
平成 26 年 11 月 7 日	金	長崎県市町村教育委員研究大会	5 名	
計			14 名	

### その他の活動状況

年 月 日	曜日	内 容	参加委員数	備 考
平成 26 年 4 月 22 日	火	長崎県市町村教育委員会連絡協議会合同理事会及び県・市町教育委員会合同会議	2 名	
平成 26 年 12 月 18 日	木	社会教育委員との意見交換会	5 名	
計			7 名	

---

## 2 教育委員会が管理・執行する事務について

---

自己点検評価基準（①出来ている ②概ね出来ている ③もう少し）

中項目		活動指標	26年度	25年度	内容等	点検評価
1	教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること	検討件数	4件	4件	小学校適正配置（学校統合）実施計画（素案）、西海市いじめ防止基本方針の策定、他2件について審議した。	①・2・3
2	教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること	検討件数	24件	27件	教育委員会規則10件、訓令8件、告示3件、要綱3件、修正1件について制定改廃を行った。	①・2・3
3	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	検討件数	0件	0件	平成26年度は該当なし。	—
4	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	検討件数	6件	5件	市内小中学校教職員の人事異動、職員等の処分について検討した。	①・2・3
5	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	検討件数	2件	2件	教育委員会の自己点検・評価について検討した。	①・2・3
6	幼保連携型認定こども園に関する意見の陳述に関すること	検討件数	0件	0件	平成26年度は該当なし。	—
7	教育に関する歳入歳出予算及び議会の議決を経るべき事件に関する意見の申し出に関すること	予算関係 検討件数	8件	6件	当初予算及び補正予算について検討した。	①・2・3
		条例関係 検討件数	6件	7件	西海市立幼稚園設置条例の提案の他5件の条例の提案について検討した。	①・2・3
		その他議案 検討件数	1件	4件	損害賠償の額を定め、和解することについて検討した。	①・2・3
8	通学区域の決定又は変更に関すること	検討件数	0件	0件	平成26年度は該当なし。	—
9	教科用図書の採択及び教材の取扱に対する方針を定めること	検討件数	1件	1件	平成27年度使用教科用図書の採択を審議した。	①・2・3

10	県費負担に係る教職員の 任免その他の進退につい て内申すること	検討件数	0 件	1 件	平成 26 年度該当なし。	—
11	教育委員会の所管に属す る各種委員会の委員の任 命又は委嘱に関すること	検討件数	19 件	23 件	西海市障がい児就学指 導委員会委員、西海市教 科等指導員等の各種委 員会委員の委嘱につい て検討した。	①・2・3
12	市文化財の指定又は解除 に関すること	検討件数	2 件	0 件	崎戸町平島の浄専寺の 喚鐘の文化財登録につ いて検討した。	①・2・3
13	学校その他の教育機関の 敷地の選定及び変更を決 定すること	検討件数	0 件	0 件	平成 26 年度は該当なし。	—
14	1 件 1,000 万円を超える 事業計画に関すること	検討件数	1 件	2 件	学校施設耐震改修事業、 大瀬戸総合運動公園テ ニスコート改造事業に ついて検討した。	①・2・3
15	教育財産の取得及び処分 について市長に申出を行 うこと	申出件数	3 件	5 件	教育財産の取得 1 件、用 途廃止 2 件について検討 した。	①・2・3
16	その他	検討件数	4 件	6 件	教育文化スポーツ功労 表彰、県文化財への指定 について検討した。	①・2・3
	計		81 件	92 件		



(参考) 西海市教育委員会議案等一覧

会 議	種 別	番 号	件 名	議決年月日	結 果	中項目の 区 分
第4回定例会	議案	第31号	教育財産の取得について（西海市大島離島開発総合センター駐車場）	平成26年4月21日	原案可決	15
	議案	第32号	西海市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	平成26年4月21日	原案可決	2
	議案	第33号	委員長の選挙について	平成26年4月21日	原案可決	4
	議案	第34号	委員長職務代理者の指定について	平成26年4月21日	原案可決	4
第5回定例会	議案	第35号	西海市障がい児就学指導委員会委員の委嘱について	平成26年5月26日	原案可決	11
	議案	第36号	西海市教科等指導員の委嘱について	平成26年5月26日	原案可決	11
	議案	第37号	西海市立小・中学校省令主任の任命について	平成26年5月26日	原案可決	4
	議案	第38号	西海市教科書採択協議会委員の委嘱について	平成26年5月26日	原案可決	11
	議案	第39号	西海市立小学校及び中学校における学校評議員の委嘱について	平成26年5月26日	原案可決	11
	議案	第40号	西海市立小学校及び中学校における地区学校評価委員会委員の委嘱について	取り下げ		11
	議案	第41号	西海市立学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について	平成26年5月26日	原案可決	11
	議案	第42号	西海市社会教育委員の委嘱について	平成26年5月26日	原案可決	11
	議案	第43号	西海市公民館運営審議会委員の委嘱について	平成26年5月26日	原案可決	11
	議案	第44号	西海市立図書館協議会委員の委嘱について	平成26年5月26日	原案可決	11
	議案	第45号	西海市文化財保護審議会委員の委嘱について	平成26年5月26日	原案可決	11
	議案	第46号	長崎県指定文化財への推薦に関する西海市文化財保護審議会への諮問について	平成26年5月26日	原案可決	16
	議案	第47号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育費補正予算第1号）	平成26年5月26日	原案可決	7
	議案	第48号	教育財産の用途廃止について（教職員住宅）	平成26年5月26日	原案可決	15
	議案	第49号	西海市教職員住宅使用規則の一部を改正する規則の制定について	平成26年5月26日	原案可決	2
	議案	第50号	西海市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定について	平成26年5月26日	原案可決	2
	報告	第3号	平成26年度教育委員会所管大型事業に係る事業計画について	平成26年5月26日	原案承認	14

	報告	第4号	平成25年度教育費補正予算第6号について	平成26年5月26日	原案承認	7
	報告	第5号	小学校適正配置(学校統合)実施計画(素案)の作成について	平成26年5月26日	原案承認	1
第6回定例会	議案	第51号	西海市結核対策委員会委員の委嘱について	平成26年7月2日	原案可決	11
	議案	第52号	西海市学校教育問題対策協議会委員の委嘱について	平成26年7月2日	原案可決	11
	議案	第53号	西海市立学校財務事務取扱要領の一部を改正する訓令の制定について	平成26年7月2日	原案可決	2
	議案	第54号	松島炭鉱第4坑跡の長崎県指定文化財への推薦について	平成26年7月2日	原案可決	16
	報告	第6号	西海市立小学校及び中学校における地区学校評価委員会委員の委嘱に係る専決処分の承認について	平成26年7月2日	原案承認	11
第7回定例会	議案	第55号	教職員の処分について	平成26年7月29日	原案可決	4
	議案	第56号	西海市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	平成26年7月29日	原案可決	11
	議案	第57号	西海市公民館運営審議会委員の委嘱について	平成26年7月29日	原案可決	11
	議案	第58号	全国学力・学習状況調査に係る西海市及び西海市立小・中学校の結果公表について	平成26年7月29日	原案可決	1
	議案	第59号	西海市立の学校におけるハラスメントの防止等に関する要綱の制定について	平成26年7月29日	原案可決	2
	議案	第60号	西海市子ども体験活動事業費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	平成26年7月29日	原案可決	2
	報告	第7号	平島小中学校自動車物損事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについて	平成26年7月29日	原案承認	7
第8回定例会	議案	第61号	職員の処分について	平成26年8月29日	原案可決	4
	議案	第62号	平成27年度使用小学校教科用図書の採択について	平成26年8月29日	原案可決	9
	議案	第63号	西海市いじめ防止基本方針の策定について	平成26年8月29日	修正可決	1
	議案	第64号	平成25年度西海市教育委員会自己点検・評価について		継続審議	5
	議案	第65号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(教育費補正予算第2号)	平成26年8月29日	原案可決	7
	報告	第8号	松島炭鉱第4坑跡の長崎県指定文化財への推薦内容の修正について	平成26年8月29日	原案承認	16
第9回定例会	議案	第64号	平成25年度西海市教育委員会自己点検・評価について	平成26年9月30日	修正可決	5
	議案	第66号	全国学力・学習状況調査に係る西海市及び西海市立小・中学校の結果公表の仕方について	平成26年9月30日	修正可決	1
	議案	第67号	西海市立大島幼稚園保育料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	平成26年9月30日	原案可決	2

	報告	第9号	平成25年度西海市一般会計（教育費）決算認定について	平成26年9月30日	原案承認	7
第10回定例会	議案	第68号	西海市文化財指定に関する西海市文化財保護審議会への諮問について	平成26年10月29日	原案可決	12
第11回定例会	議案	第69号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育費補正予算第3号）	平成26年11月17日	原案可決	7
	議案	第70号	西海市立小学校及び中学校体育施設利用条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	平成26年11月17日	原案可決	2
	議案	第71号	西海市体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	平成26年11月17日	原案可決	2
第1回定例会	議案	第1号	平成26年度教育・文化・スポーツ功労被表彰者の決定について	平成27年1月22日	原案可決	16
第2回定例会	議案	第2号	西海市立学校医の委嘱について	平成27年2月26日	原案可決	11
	議案	第3号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について （西海市立幼稚園設置条例の制定について）	平成27年2月26日	原案可決	7
	議案	第4号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について （西海市障がい児就学指導委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について）	平成27年2月26日	原案可決	7
	議案	第5号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について （西海市スクールバスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について）	平成27年2月26日	原案可決	7
	議案	第6号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について （西海市公民館の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例の制定について）	平成27年2月26日	原案可決	7
	議案	第7号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について （西海市スポーツ推進審議会条例の一部を改正する条例の制定について）	平成27年2月26日	原案可決	7
	議案	第8号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について （西海市地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について）	平成27年2月26日	原案可決	7
	議案	第9号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（平成27年度教育費予算）	平成27年2月26日	原案可決	7
	議案	第10号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育費補正予算第5号）	平成27年2月26日	原案可決	7
第1回臨時会	議案	第11号	平成27年度教職員人事異動について	平成27年3月2日	原案可決	4
	議案	第12号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育費補正予算第6号）	平成27年3月2日	原案可決	7

第3回定例会	議案	第13号	西海市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について	平成27年3月24日	原案可決	11
	議案	第14号	西海市公民館長、主事及び書記の委嘱について	平成27年3月24日	原案可決	11
	議案	第15号	西海市スポーツ推進委員の委嘱について	平成27年3月24日	原案可決	11
	議案	第16号	教育財産の用途廃止について	平成27年3月24日	原案可決	15
	議案	第17号	西海市立幼稚園保育料徴収規則の制定について	平成27年3月24日	原案可決	2
	議案	第18号	西海市スクールバスの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	平成27年3月24日	原案可決	2
	議案	第19号	西海市教職員住宅使用規則の一部を改正する規則の制定について	平成27年3月24日	原案可決	2
	議案	第20号	西海市地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整備に関する規則の制定について	平成27年3月24日	原案可決	2
	議案	第21号	西海市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について	平成27年3月24日	原案可決	2
	議案	第22号	西海市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について	平成27年3月24日	原案可決	2
	議案	第23号	西海市立小学校及び中学校児童・生徒の通学費補助金交付要綱の制定について	取り消し		2
	議案	第24号	西海市文化財保護連絡調整会議設置要綱の一部を改正する訓令の制定について	平成27年3月24日	原案可決	2
	議案	第25号	西海市子ども体験活動事業費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	平成27年3月24日	原案可決	2
	議案	第26号	西海市立小中学校に勤務する職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	平成27年3月24日	原案可決	2
	議案	第27号	西海市スクールバス運行管理規程の一部を改正する訓令の制定について	平成27年3月24日	原案可決	2
	議案	第28号	西海市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定について	平成27年3月24日	原案可決	2
	議案	第29号	西海市教育委員会非常勤職員の任用に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	平成27年3月24日	原案可決	2
	議案	第30号	西海市立学校事務専決及び代決規程の一部を改正する訓令の制定について	平成27年3月24日	原案可決	2
	議案	第31号	浄専寺の喚鐘の西海市文化財への指定について	平成27年3月24日	原案可決	12
	報告	第1号	西海市スポーツ推進審議会条例の修正について	平成27年3月24日	原案承認	2

### 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する 事務について

中項目	1. 生きる力をはぐくむ学校教育の実現	
	小項目	(1) 能力や個性をのばす教育の推進
		(2) 豊かな心と規範意識の育成
		(3) 健康で安全な学校生活の実現
		(4) 教職員の資質の向上
(5) 幼児期の教育の振興		
中項目	2. いつでもどこでも学べる生涯学習の推進	
	小項目	(1) 学習環境の充実
		(2) 公民館活動の活性化
(3) 人権・同和教育の推進		
中項目	3. 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上	
	小項目	(1) 家庭の教育力の向上
		(2) 学校・家庭・地域の協働
(3) 青少年の健全育成		
中項目	4. 安全・安心を確保する教育環境の構築	
	小項目	(1) 安全・安心を確保する教育環境の実現
		(2) 学校施設の質的改善
中項目	5. 地域を支える文化・芸術、スポーツの振興	
	小項目	(1) 文化・芸術活動の推進
		(2) 文化財の保存・活用
		(3) 活力あるスポーツの振興
(4) スポーツ環境の充実		

自己点検評価基準 (①出来ている ②概ね出来ている ③もう少し)

中項目		1. 生きる力をはぐくむ学校教育の実現						
小項目	主要施策	成果指標	26年度	25年度	決算額 (千円)	内容等	点検評価	主管課
(1) 能力や個性を伸ばす教育の推進	学力の向上	研究授業の実施	実施者の割合 96%	実施者の割合 100%	—	授業構成能力を身につけ、個に応じた指導を柔軟かつ多様に取り入れながら、基本的な内容を身につけるため、各学校で校内研修を行った。また、教育委員会事務局としても、各学校の校内研修に出向き、指導助言を行うことで校内研修の充実を図った。	①・2・3	学校教育課
		「夢・あこがれ・志」モデルカリキュラムを参考にした授業の実施	中学校 4校	中学校 5校	—	将来の生き方を視野に、「夢、あこがれ、志」をもった子どもを育てるために、計画的な進路指導や職場体験、キャリア教育の充実を図った。	①・2・3	学校教育課
		子ども未来創造事業	講演会参加者 300人 「美しい日本語」 冊子印刷 3,000部	講演会参加者 414人 「美しい日本語」 冊子印刷 3,500部	2,248	夢を実現させるための底力を育成するために、体験活動を開催し、学習や生活の基本となる言葉の力の育成を支援した。	①・2・3	学校教育課
		1日当たりの家庭学習時間	小学校低学年 59分 小学校高学年 91分 中学生102分	小学校低学年 53分 小学校高学年 77分 中学生102分	—	児童生徒の家庭学習時間の確保において、各学校とPTAが連携し、家庭学習の充実を図った。 今後もさらに家庭学習時間の確保を目指す。	①・2・3	学校教育課
		研究委託事業	委託校 5校	委託校 6校	650	算数科研究(小学校1校)、人権教育(中学校1校)、中高一貫教育(中学校1校)、ICT教育(小学校1校、中学校1校)の5校に研究委託を行い、研究発表会や授業公開を通して、子どもの学力向上と教員の資質向上が図られた。	①・2・3	学校教育課

	小学校学力検査委託事業	対象児童数 409人	対象児童数 439人	388	西海市内の小学生（4年、5年）全員に対して、学力検査と学習意識調査を実施することで、学力の傾向や学習状況などの把握を図り、児童自身が自らの学力を知ることで、今後の学力向上に寄与した。	①・2・3	学校教育課
	中学校学力検査委託事業	対象生徒数 513人	対象生徒数 526人	313	西海市内の中学生（3年生を除く）全員に対して、学力検査と学習意識調査を実施することで、学力の傾向や学習状況などの把握を図り、生徒自身が自らの学力を知ることで、今後の学力向上に寄与した。	①・2・3	学校教育課
	要保護児童・生徒就学援助費	認定者数 小学生 18名 中学生 9名	認定者数 小学生 14名 中学生 9名	295	要保護家庭の修学旅行費及び医療費の補助を行うことで、児童・生徒の教育振興及び保護者の経済的負担の軽減を図った。	①・2・3	学校教育課
	準要保護児童・生徒就学援助費	認定者数 小学生 138名 中学生 107名	認定者数 小学生 139名 中学生 94名	23,902	経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して、必要な援助を行った。	①・2・3	学校教育課
特別支援教育の充実	特別支援教育研修会の受講者数	受講者数 80人 小学校 58人 中学校 21人 幼稚園 1人	受講者数 73人 小学校 46人 中学校 26人 幼稚園 1人	—	市内全小・中学校の特別支援教育コーディネーター、市雇用の学習支援員及び特別支援教育補助員対象の研修会を実施し、さらに市内小中学校の全ての教職員対象の夏季研修会においても特別支援教育をテーマに研修を実施した。その際、特別支援学校から講師を招き本市のニーズに応じた講義を受け、実践化を図った。	①・2・3	学校教育課
	特別支援教育補助員の配置数	補助員 18名	補助員 18名	16,765	発達障害やそれに類する児童のいる学級では、学習が成立しなかったり、該当の子どもたちの学習の定着が図れなかったりしていた。本事業の補助員が入ることで、学習を成立させ安定した学校生活を送れるようになった。	①・2・3	学校教育課

		他市町の専門機関 の活用回数	活用回数 50回 小学校 19件 中学校 18件 教育委員会8件 その他 5件	活用回数 10回	—	川棚、桜ヶ丘特別支援学校の地域支援事業を活用し、特別支援教育コーディネーター及び学習支援員・特別支援教育補助員の研修会への講師派遣、就学相談のアドバイス及び教育相談を依頼した。計6回の研修会では延べ136名（内訳 特コ 19名×3回、支援員18名×2回、教職員夏季研修会参加者43名）の教職員が参加し、その後の指導に生かされた。その他にも就学相談や教育相談において適切なアドバイスをいただき、その後の効果的な支援等につなげることができた。	①・2・3	学校教育課
		就学指導委員会	実施回数 3回	実施回数 2回	37	障害があるなど、特別な支援を要する児童・生徒の就学判定を行うため、就学指導委員会を3回開催した。判定を受け、保護者と相談をすることにより、対象児童・生徒にとって適正な就学ができた。 平成26年度対象：就学児（園児）10名、児童数18名、生徒数9名	①・2・3	学校教育課
		小学校特別支援教育就学奨励費	認定者数 27名	認定者数 29名	652	特別支援学級児童の教育振興及び保護者の経済的負担の軽減を図った。	①・2・3	学校教育課
		中学校特別支援教育就学奨励費	認定者数 16名	認定者数 17名	615	特別支援学級生徒の教育振興及び保護者の経済的負担の軽減を図った。	①・2・3	学校教育課
		幼稚園特別支援教育補助事業	補助対象 幼稚園数 0園	補助対象 幼稚園数 1園	0	特別に支援が必要な幼児が在籍している市内私立幼稚園が特別支援教育補助員を雇用する場合、その人件費を対象として補助を行うが、平成26年度は実績がなかった。	1・②・3	学校教育課
	特色ある学校 づくりの推進	地域産業を生かした 体験学習の実施率	100%	100%	—	西海市の地域性を生かして、小学校の農業体験活動や水産体験活動を通じて、勤労・食育・協働・環境教育等の理解と実践ができるよう努めた。	①・2・3	学校教育課
		地区学校評価委員 の学校訪問出席率	77.5%	60.0%	393	特色ある学校づくりのために、地域住民や保護者、教職員が学校の評価者となる「地区学校評価委員」の活動の活性化を図った。	1・②・3	学校教育課
		A L T等の配置	A L T配置数 4名	A L T配置数 4名	14,795	英語を母国語とする外国人4名の英語指導助手により、児童生徒に対し英語教諭とともに英語指導を行った。生きた英語に触れることで、語学力の向上と国際理解を深めることが出来た。	①・2・3	学校教育課



		特色ある教育推進事業	実施校数 20校	実施校数 19校	329	各小・中学校の教育方針に基づき、地域の実情に応じた特色ある教育推進事業を実施した。	①・2・3	学校教育課
	小・中連携、 中・高一貫教育 の推進	高等学校振興協議 会補助事業	導入地区数 3地区	導入地区数 3地区	450	県立高校と連携した教育を推進していく中で、相互協力、相互交流するための事業経費に対して補助を行った。	1・②・3	学校教育課
(2) 豊かな心 と規範意 識の育成	道徳教育の充 実	「道徳の時間」の 研究授業を実施し ている学校の割合	96%	100%	—	市内18校において校内で授業研究を行った。	①・2・3	学校教育課
		職場体験推進事業	実施校数 5校	実施校数 5校 (江島は休校)	—	各中学校の教育方針に基づき、中学校において職場体験推進事業を実施し道徳的実践力を身に付けさせた。	1・②・3	学校教育課
	ふる里を学ぶ 教育の推進	地域を学ぶ副教材 の作成	中学校 副読本300部	中学校 副読本300部	197	市内中学1年生(276人)に配布し、授業で活用することで、郷土を誇り、愛する西海市の子どもの育成に努めた。(2ヵ年分を作成し配布を行う。)	①・2・3	学校教育課
		小学校6年生を対 象にした「西海学」 の実施率	実施率 100%	実施率 100%	139	小学校高学年において、「西海学」を全小学校で実施した。	①・2・3	学校教育課
		「西海学」教職員 研修会の実施	受講者数58名 小学校 41名 中学校 17名 幼稚園 0名	受講者数50名 小学校 39名 中学校 11名 幼稚園 0名	58	夏季教職員研修の一つとして一日実施した。西海町の歴史を学んだ。参加した教師は研修で学んだことを社会科や総合的な学習の指導につなげた。	①・2・3	学校教育課
	読書活動の推 進	小・中学校におけ る1ヶ月の1人当 たり図書貸出数	図書貸出数 小学校7.0冊 中学校2.8冊	図書貸出数 小6.8冊 中2.2冊	—	学校図書館司書及び学校図書館運営補助員の配置による小中学校の読書活動の推進、朝の読書活動の定着等により、貸出数は増加傾向を示した。	①・2・3	学校教育課

		「学校図書館標準」等による標準冊数達成学校の割合	標準冊数達成割合 小学校 119.4% 中学校 99.1%	標準冊数達成割合 小学校 108.1% 中学校 99.8%	3,639	蔵書率 100%を越えた学校から、古い図書の廃棄作業を進め児童生徒に必要な図書の整備を図っており、蔵書率が小学校においては平均で1.194%、中学校においては99.1%となった。	①・②・③	学校教育課
		学校図書館司書の配置(小・中学校)	図書司書 設置校 4校	図書司書 設置校 4校	8,318	市内小・中学校の読書活動推進のため、中学校に図書司書を配置し、読書に関する指導や環境づくりを行うとともに、近隣小学校を巡回し中学校と同様の指導等を行った。	①・②・③	学校教育課
	不登校の子どもなどへの支援	小・中学校における不登校児童・生徒数	小 1名 中 6名	小 2名 中 14名	—	不登校を減らすための取り組みの成果が出てきた。個々の状況に応じた指導の徹底を図る。	1・②・③	学校教育課
		心の教室相談事業	設置校 4校	設置校 4校	2,560	市内中学校に心の教室相談員を配置し、不登校傾向の生徒や保護者への支援、友人関係に悩む生徒の相談等を受け、助言を行った。どの生徒も気軽に訪れることができるというよさを生かしつつ、不登校に係る生徒への相談体制の充実に取り組んでいく。	1・②・③	学校教育課
		適応指導教室の設置	設置数 1箇所	設置数 2箇所	1,973	心理的要因等により学校生活に適応できない児童生徒に対し、適応指導教室を設置し、状況に応じた適切な相談、指導を行った。平成26年度では5名の児童生徒が通級(訪問)し、指導を受けた。入級後の出席状況を改善し、学校への復帰につなげるため、家庭への支援と連携に特に配慮した関わりを続けている。	1・②・③	学校教育課
(3) 健康で安全な学校生活の実現	健康・安全教育の推進	朝ご飯を毎日食べて登校する児童・生徒の割合	小 98.18% 中 98.60%	小 89.38% 中 91.5%	—	今後さらに朝食を毎日食べて登校する児童・生徒を増やすために取り組む。	1・②・③	学校教育課
		う歯罹患者の割合	う歯罹患者割合 小学校 18.8% 中学校 41.5%	う歯罹患者割合 小学校 20.9% 中学校 44.1%	—	今後さらに罹患者を減らすための取組が必要である。	1・②・③	学校教育課
		避難訓練の実施率	100%	100%	—	警察・消防等の関係機関と連携し、各学校の実態に応じた自然災害や火災、不審者対策等の避難訓練を実施した。	①・②・③	学校教育課

学校体育の充実と体力の向上	西海市独自の体育指導者講習会の開催	開催数 年2回	開催数 年2回	—	長崎市、西彼杵郡との合同開催で小学校1回、中学校1回、計2回の講習会を実施し、指導者の資質向上に資することができた。	1・②・3	学校教育課
	中学校の部活動における外部指導者の割合	外部指導者の割合 中学校 73%	外部指導者の割合 中学校 63%	—	地域の指導者と連携し、クラブ活動並びに部活動の運営を円滑に進めることができた。	1・②・3	学校教育課
	中学校クラブ活動補助金	市内5中学校 49クラブ	市内5中学校 49クラブ	1,470	中学校のほとんどの生徒が入部しているクラブの運営補助を行い、保護者の負担軽減を図り、部活動を通じた生徒の育成に寄与した。	①・2・3	学校教育課
	結核対策委員会	委員会 年1回開催	委員会 年1回開催	38	年1回、小中学校から提出された要検討者名簿から適切な対処法の指導検討を行い、結核の予防が図られた。2回予定で、1回目で解決できない案件を2回目で行うこととしているが、1回目で対応できたため、2回目は実施しなかった。	①・2・3	学校教育課
学校給食・食育の充実	西海市産の農漁産物の使用率	使用率 81.8%	使用率 81.6%	—	地元の食材を有効に活用し、高い成果を上げることができた。しかし、農作物の確保は天候等に左右されるため、継続が難しい場合もある。	①・2・3	学校教育課
	栄養教諭や学校栄養職員による食に関する授業回数	授業回数 小…延べ64回 中…延べ81回	授業回数 小…延べ64回 中…延べ81回	—	各校で栄養教諭と連携して計画を立て授業を実施した。児童生徒の実態や発達段階を把握し、家庭科、体育保健、特別活動等との連携を図りながら実施した。	①・2・3	学校教育課
	学校給食施設の大規模改修施工箇所	—	—	—	施設内の老朽化による小規模の修繕や備品等の入替え購入は発生しているが、今後、学校給食共同調理場の適正規模計画による大規模改修の実施は必要である。	1・2・③	学校教育課
	学校給食共同調理場の適正規模化計画	—	—	—	児童・生徒数の減少により、先を見据えた調理員の減と給食調理場の統廃合により、最終的には現在4箇所ある調理場を2箇所とすることで効率化を図る必要がある。	1・2・③	学校教育課

(4) 教職員の 資質の向 上	教職員研修の 充実	選択制の教職員研 修の実施回数	選択研修4種目 該当者必須研修 4種目	選択研修4種目 該当者必須研修 4種目	—	選択制の教職員研修については、西海市教職員研修会として実施した。夏季研修期間中に、教職員の指導力や資質の向上を図ることを目的として、市主催の選択研修4種目、該当者必須研修4種目を開催した。選択研修は「特別支援教育」「西海学」「読書活動」「農業体験」の4種目、必須研修「初任者研修」「10年経験者研修」「特別支援教育補助員研修」「学校給食関係者研修」の4種目を実施した。	①・2・3	学校教育課	
		教育研究会と連携 した授業研究会等 の開催回数	開催数 8回	開催数 11回	—	教育研究会へき地・複式部の研究会と校内研究への指導主事派遣を共同で実施した。今後も教育研究会と連携をとりながら、授業研究会等の充実を目指す。	①・2・3	学校教育課	
		校内研修の推 進	校内研修への指導 主事の派遣	派遣回数 小学校27回 中学校6回	派遣回数 小学校28回 中学校9回	—	各学校の研究内容に応じて指導主事を派遣して指導助言を行った。 (小学校：15校に対し27回、中学校：5校に対し6回)	①・2・3	学校教育課
(5) 幼児期の 教育の振 興	幼・保・小接続 教育の推進	幼・保・小の教職 員間の交流事業の 実施	実施率 100%	実施率 100%	—	幼稚園、保育園、小学校の教職員同士の情報交換を小学校単位で実施した。 ただし、研修会は実施できなかった。	1・②・3	学校教育課	
		幼稚園就園奨励事 業	補助対象幼児数 88人	補助対象幼児数 72人	11,369	国の幼児教育振興政策として行われている。3歳以上の幼稚園児の保護者の保育料の負担軽減を図るため幼児教育振興に努め、補助を実施した。	①・2・3	学校教育課	
		幼児教育の推 進	認定子ども園の設 置	設置数 1園	設置数 1園	—	福祉課と連携し、「認定子ども園」の創設や公・私立幼稚園、また保育所(園)の適正配置など、幼児教育の場の安定的確保と指導体制の研究・推進を図る。	1・2・③	学校教育課
			私立幼稚園教育振 興補助事業	補助対象 幼稚園数 2園	補助対象 幼稚園数 2園	3,350	市内2私立幼稚園に対して、教育振興と充実した教育を進めるため補助を行い、幼児教育の充実を図った。	1・②・3	学校教育課
		子育てあんしん応 援事業	補助対象者 18名	補助対象者 13名	941	子育て家庭の経済的な負担軽減を図るとともに、幼児の健全な育成に資するため、西海市内幼稚園に就園する園児の保護者が負担する保育料の一部を補助した。	①・2・3	学校教育課	

		私立幼稚園通園費 補助事業	補助対象者 20名	補助対象者 19名	127	西海市が目指す「安心して生み育て、豊かに暮らせる里づくり」の実現に向け、遠距離地区から通園する園児の保護者に対して、経済的負担を軽減する目的から通園費補助を行った。	①・2・3	学校教育課
--	--	------------------	--------------	--------------	-----	--	-------	-------

中項目		2. いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進						
小項目	主要施策	成果指標	26年度	25年度	決算額 (千円)	内 容 等	点検評価	主管課
(1) 学習環境 の充実	図書館ネット ワークの整備	図書館システムの 導入	図書館(室)数 5館	図書館(室)数 5館	—	図書館システム導入後、市内全ての図書館蔵書を把握することができ、 図書整備の充実に繋がった。 また、市内間における相互貸借数も増加した。	①・2・3	社会教育課
		長崎図書クロスね っとへの検索サー ビス	図書館(室)数 5館	図書館(室)数 5館	—	長崎県立長崎図書館を中心としたクロスねっとを活用し、県内外の図 書館蔵書の検索や相互貸借が可能となり、サービス提供の拡大に繋が った。	①・2・3	社会教育課
		学校図書システム との連携	100%	100%	—	図書システム導入により、公立図書館から「身近に本を届ける支援・ サービス」の一環として学校や幼稚園、保育所など、移動図書館サー ビスや団体貸出、学級文庫貸出を実施した。	①・2・3	社会教育課
	図書サービ スの向上	図書ボランティア の数	15人	15人	—	図書ボランティアが活躍できる場として定期的開催されている各図 書館・図書室での「おはなし会」や「親子読書のつどい」等に参加。	①・2・3	社会教育課
		図書館利用者数 (年間)	34,567人	35,979人	—	利用者の多くは定期的に来館されているものの、若干利用者が減少し た。	①・2・3	社会教育課
		貸し出し図書数 (年間総数)	118,269冊	119,680冊	—	図書館利用者の減少に伴い、貸出冊数も若干減少している。	①・2・3	社会教育課
	子どもの読書 活動の充実	乳児検診時のブッ クスタート実施率	98.9%	95.8%	320	子ども読書推進計画に基づき本に親しみきっかけづくりを行った。 具体的には、まだ字や言葉の意味を理解する前の年齢から本に触れさ せることにより、子どもに対する読書推進の風土を醸成した。	①・2・3	社会教育課
		子どもの読書活動 計画の実施	100%	100%	—	平成25年度に策定された「第2次子ども読書活動推進計画」に掲げた 「子どもが読書に親しむ機会の提供・充実」、「子どもの読書環境の充 実・整備」、「家庭」・「学校」・「地域」等の連携・協力の基本方針に沿 って、子ども読書活動推進事業を実施した。	①・2・3	社会教育課

(2) 公民館活 動の活性 化	校区公民館を 核とした地域 教育力の向上	校区公民館の整備 数	8 館	8 館	1,522	平成 26 年度 8 月 1 日に大島公立公民館準備委員会が発足。平成 26 年 度中に、準備委員会を 4 回開催し、平成 27 年 4 月 1 日に大島町全域を 対象とした、『大島公立公民館』が設立の目処がたった。	1・②・3	社会教育課
		モデル公民館活動 実践館	5 館	4 館	686	西海市内の自治公民館の活動を推進し、活性化を図ることを目的とし、 市内のモデルとなる事業を実施する公民館に対し補助を行った。モデル となる事業を実施している公民館は多いため、対象となる館の役員 へ説明を行い、事業活用の推進を図った。	1・②・3	社会教育課
	公民館ネット ワークの整備	公民館職員等の年 間研修機会回数	2 回	1 回	257	公民館が「人づくり」「地域づくり」の拠点となるために、その推進の 担い手となる職員が公民館事業のあり方や講座づくり等について研修 を深め、その資質向上を図ることを目的に長崎県公民館職員等研修会 が開催され、職員 3 名が参加した。 また、これからの公民館活動の充実を図ることを目的として、長崎県 公民館大会が開催され、西海市内公民館関係者 53 名の参加があった。	1・②・3	社会教育課
		公民館情報誌の年 間発行回数	1 回	2 回	71	今日的な課題の共有、各自治公民館や公立公民館での事業紹介、行事 予定等を掲載し、地域に親しまれ、情報を共有することを目的に、公 民館広報誌「波動」を発行した。	1・②・3	社会教育課
		公民館連絡会議の 開催	1 回	1 回	46	館長・主事・書記をはじめとする公民館役員のつながりを強化するた め、連絡会議を開催した。	1・②・3	社会教育課
	公民館等を活 用した学習拠 点づくり	生涯学習講座への 参加者数	5,170 人	6,136 人	—	地域の特色を生かした講座や各種講座への参加者。	1・②・3	社会教育課
		公民館利用者数	56,643 人	60,622 人	—	市内公立公民館利用者数。 (生涯学習参加者、会議等の一般利用者、各種研修会参加者等)	1・②・3	社会教育課
(3) 人権・同和 教育の推 進	社会における 人権教育の推 進	人権・同和教育に 関する講演会・研 修会の参加者数	609 人	310 人	225	人権尊重の地域づくりを目指し、「西海市人権のつどい」や各地区の成 人・高齢者講座を開催し、人権・同和の問題に関する学習機会を提供 した。	①・2・3	社会教育課

進		人権・同和教育の指導者登録人員	3名	2名	—	長崎県主催の人権・同和教育指導者スキルアップのための研修会に参加し、指導者として登録した。	1・②・3	社会教育課
	学校における人権・同和教育及び平和教育の推進	小学校におけるいじめ発生確認件数	確認件数 小学校 13 件	確認件数 小学校 20 件	—	本年度も引き続き道徳の授業の充実と人権教育の推進を行った。冷やかしかや仲間はずし等、全ての事案について解消することができた。今後、ネット上のひぼう中傷等のいじめ防止に万全を期す。	1・②・3	学校教育課
		中学校におけるいじめ発生確認件数	確認件数 中学校 8 件	確認件数 中学校 13 件	—	本年度も引き続き道徳の授業の充実と人権教育の推進を行った。冷やかしかや仲間はずし等、全ての事案について解消することができた。	1・②・3	学校教育課
		平和学習推進事業	実施校数 20 校	実施校数 24 校	—	原爆資料館や被爆遺構の見学、被爆者等の講演など、全小・中学校で、平和学習推進事業を実施した。	①・2・3	学校教育課



中項目		3. 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上						
小項目	主要施策	成果指標	26年度	25年度	決算額 (千円)	内 容 等	点検評価	主管課
(1) 家庭の教 育力の向 上	保護者への子 育て支援	親が学べる講座の 回数	8回	9回	124	家庭教育の指導者である親が学べる講座を実施した。	1・②・3	社会教育課
		幼稚園・保育所 での家庭教育学級の 開催数	2回	4回	32	保護者が主体となって実施する家庭教育学級を開催した。	1・②・3	社会教育課
	幼児期の子育 て支援の充実	幼稚園預かり保育 支援補助事業	補助対象 幼児数 215人	補助対象 幼児数 185人	837	市内私立幼稚園に通園する園児の保護者を対象に、幼稚園の保育時間 外の預かり保育に対し、補助を実施し、保護者の負担を軽減し幼児教 育の振興と充実を図った。 ※人数は学期ごとの延べ人数	①・2・3	学校教育課
	P T A活動の 活性化	P T A研究大会、 研修会等の開催	年1回	年1回	294	西海市の小中学校の保護者・教職員が一体となって、合同の研修を開 催することで、児童生徒の基本的な生活習慣の確立と基礎学力の充実 発展を図った。 実践発表：1校（西海市立西海北小学校P T A） 講演会 演題：「子どもを核に主体性のあるP T A活動を目指して」 講師 特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワ ーク 理事長 生重 幸恵 氏	①・2・3	学校教育課 社会教育課
(2) 学校・家 庭・地域 の協働	学校支援活動 の推進	「学校支援会議」 の設置率	100%	100%	—	市内小中学校に設置されている。	①・2・3	社会教育課
(3) 青少年の 健全育成	青少年関係団 体の活性化	青少年育成を対象 にした事業開催件 数	2回	3回	222	団体、協議会との情報を共有し、青少年の健全育成のため、協働によ る事業を開催した。	①・2・3	社会教育課

		青少年健全育成モデル事業開催件数	0回	1回	—	青少年健全育成活動を推進するため、市内の市民団体が行う活動（事業）への補助事業。 H26年度から子ども体験活動事業費補助金に移行し、補助事業を実施した。	1・②・3	社会教育課
	青少年の交流活動の推進	青少年を対象にした体験・交流事業開催件数	0回	3回	211	青少年を対象とした体験活動や地域・学校・学年の枠を超えた交流事業。 H26年度は、西彼青年の家主催の子ども遊学塾に協力を行った。	1・②・3	社会教育課
		他市町との子どもたちとの交流活動	2回	1回 (小学生)	(まちづくり推進課負担)	姉妹都市である北海道広尾町の小学生との交流事業を実施した。	①・2・3	社会教育課 学校教育課
	青少年を有害環境から守る取組の推進	有害図書類等販売店舗等への立入調査への協力者数	立入調査 17(7月)、12(11月)箇所 協力者数25名	立入調査 13(7月)、15(11月)箇所 協力者数10名	0	毎年7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11月の「全国青少年健全育成強調月間」に併せて、関係機関と連携しながら、有害図書類等販売店舗への立入調査を実施した。	①・2・3	社会教育課
		情報メディアの適切な利用法を啓発する学習会の開催	1回	1回	—	各小中学校PTA主体で開催されている家庭教育学級を活用し、情報メディアの適切な利用法についての学習会を開催した。 家庭教育学級における研修テーマについては、各PTAにおいて決定されるので、年度によって開催回数に変動がある。	1・②・3	社会教育課

中項目		4. 安全・安心を確保する教育環境の構築						
小項目	主要施策	成果指標	26年度	25年度	決算額 (千円)	内 容 等	点検評価	主管課
(1) 安全・安心 を確保す る教育環 境の実現	教育施設の耐 震化の推進	小中学校の耐震化 率	96.0%	96.0%	16,196	昭和56年以前に建築された全ての校舎及び体育館について、平成20年度に実施した耐震2次診断結果に基づき、緊急性の高い建物から計画的に耐震補強工事を実施し耐震化の改善を図っている。目標耐震化率100%に向け改修を進めており、平成26年度は江島小中学校の耐震改修工事のための、実施設計業務委託を行った。	1・②・3	教育総務課
	安全確保を図 る地域ボラン ティアの育成	「スクールガー ド」を設置してい る小学校の割合	設置率 86.7% 13/15	設置率 86.7%	—	地域ぐるみの学校安全体制充実のため、地域の協力の下「スクールガード」の組織をつくり、子どもの登下校を見守る運動を推進した。	①・2・3	学校教育課
		子どもの安全確保 対策事業	防犯ブザー購入数 231個	防犯ブザー購入数 220個	97	防犯ブザー220個を購入し、新1年生215人へ配布を行い、児童の登下校時の安全を確保することが図られた。	①・2・3	学校教育課
		スクールバス運行 事業	スクールバス 5台 西彼地区2台 西海地区3台 内1台10人乗り	スクールバス 5台 西彼地区2台 西海地区3台 内1台10人乗り	21,088	遠距離通学で、路線バスがない地区の児童生徒の通学上の負担軽減を図るため、民間業者への委託事業により市内で5台のスクールバスを運行した。 西彼中学校の生徒28名、西海西小学校、西海南小学校及び西海南中学校の3学校の児童生徒74名が利用し、通学の安全、通学費の負担軽減が図られた。	①・2・3	学校教育課
		放課後の子ども たちの居場 所づくり	放課後児童クラブ への各種登録ボラ ンティアの派遣	0人	0人	—	放課後等子ども達が安全で健やかに過ごせるよう、生涯学習ボランティア等に登録された人材の情報提供や派遣を行う事業。 実施できていないため、平成27年度実施に向けて、放課後児童クラブを営む場所等を検討し、再度ボランティア登録の整備を行った。	1・2・③
(2) 学校施設 の質的改	学校の適正配 置の促進	小・中学校数	20校	20校	245	西海市立小・中学校適正配置基本計画の答申に基づく、西海市小中学校適正配置実施計画素案を作成し、後期計画として西彼地区小学校統合事業、西海地区小学校統合事業及び大崎地区小学校統合事業の推進	①・2・3	教育総務課

善						に取り組んだ。また、雪浦小学校PTA役員と今後の方向性について協議を行った。		
	学校屋外運動場の整備	屋外運動場改修学校数	改修済学校 12校	改修済学校 12校	—	子どもたちが等しく体育活動に参加できるよう、学校屋外運動場の整備・改修に努めている。目標施設数14校に向け改修を進めているが、平成26年度は実績なし。	1・②・3	教育総務課
		小学校机・椅子整備事業	机・椅子購入数 9校 456セット	机・椅子購入数 亀岳小134組 白似田小43組 大串小88組 西彼北小127組	7,483	市内小学校の机椅子を年次計画及び学校の希望に合わせ平成18年度までに整備を行ったが、学習指導要領の改訂に伴い、24年度から26年度までの3ヵ年で、教科書等の規格に合わせて整備を行うこととした。 西海東小136組、西海北小39組、西海西小22組、西海南小38組、大島西小26組、大島東小166組、崎戸小24組、江島小2組、平島小3組	①・2・3	学校教育課
		中学校机・椅子整備事業	机・椅子購入数 2校 306セット	机・椅子購入数 大崎中130組 平島中 1組	5,204	市内中学校の机椅子を年次計画及び学校の希望に合わせ平成18年度までに整備を行ったが、学習指導要領の改訂に伴い、24年度から26年度までの3ヵ年で、教科書等の規格に合わせて整備を行うこととした。 西彼中204組、大瀬戸中102組	①・2・3	学校教育課
	学校の情報化の充実	教育ネットワークの構築	ネットワーク構築等の見込経費による比較検討を行った。	ネットワーク構築等の見込経費による比較検討を行った。	—	教育委員会と小中学校を結ぶ教育ネットワークについては、教育委員会は市のグループウェア、学校は別途ネットワークで別々のネットワークで運営しているが、双方の通信はインターネットを介してのメール送受信のみである。現在、大きな支障はないが、今後、同じネットワーク環境での運営による事務の効率化を検討。予算確保が課題である。	1・2・③	教育総務課
	小・中学校におけるICT化に必要な周辺機器及びソフトウェアの整備	設置済校数 小学校1校 (研究校) 中学校1校	設置済校数 小学校1校 (研究校) 中学校1校	16,008	本市では、平成21年度末で各学校の教育用及び校務用パソコンの整備は完了している。現在、学校のICT化の効果を高めるために電子黒板等に代表される周辺機器及びソフトウェアの整備を行うための研究を実施している。平成24年度から小学校に、平成25年度から中学校にモデル校を指定して研究事業を実施する中で必要なICT機器類を決定し、年次的に整備することとしている。平成24年度に大島東小学校をモデル校に指定し研究事業用の機器類を導入し、平成26年度にはICT機器類を	1・②・3	学校教育課	

						全小学校に導入した。		
		I C T化サポート 支援員の設置	支援員配置数 1名	支援員配置数 1名	2,102	学校におけるI C T機器のトラブルやネットワークの障害対応といったI C T環境面での技術支援とともに、I C Tを活用した授業への相談や支援について、常時対応できる人材を1名配置した。	1・②・3	学校教育課
		ホームページ作成 校数	20校	19校	—	I C T化サポート支援員の支援のもと、全学校でホームページが作成できた。	①・2・3	学校教育課
	学校施設の大 規模改修	老朽校舎等の大規 模改修校数	改修済校数 10校	改修済校数 9校	43,898	老朽化が著しい学校校舎等について、外壁や床、給排水設備等施設の大規模改修を年次計画で実施することとしている。 平成26年度は大瀬戸小学校を実施。	1・②・3	教育総務課
		玄関・トイレ等バ リアフリー化整備 校数	整備済校数 8校	整備済校数 8校	—	学校施設は、障がい者（児）等も含む様々な人の利用が見込まれるため、バリアフリー環境の整備に努めることとしている。目標施設数12校に向け整備を進めているが、平成26年度は実績なし。	1・②・3	教育総務課
		再生可能エネルギ ー活用施設設置校 数	設置済校数 3校	設置済校数 3校	—	環境負荷の低減や、自然との共生等を考慮し、太陽光・風力などの再生可能エネルギーの導入、緑化、木材の利用等学校施設における温室効果ガスの排出量削減に努めるとしているが、平成26年度は実績無し。	①・2・3	教育総務課 (環境政策課)

中項目		5. 地域を支える文化・芸術、スポーツの振興						
小項目	主要施策	成果指標	26年度	25年度	決算額 (千円)	内 容 等	点検評価	主管課
(1) 文化・芸術 活動の推 進	文化芸術と触 れ合う機会の 創出	優れた文化・芸術 に関するイベント の開催回数	3回 (舞台芸術2回、 映画1回)	3回 (舞台芸術2回、 映画1回)	—	文化協会との共催事業により「①三井住友海上文化財団派遣コンサート 池田直樹50曲リクエスト・コンサート(1月)」「②さいかい市民映画館(崎戸炭鉱記録映像、映画「池島譚歌」上映(2月)」「③トロンボーンアンサンブル「MUTEコンサート」(2月)」を開催し、西海市内外より延べ約761名の来場があった。	1・②・3	社会教育課
		文化施設の整備・ 活用	大島文化ホール は築後20年余が 経ち、いたる所に 老朽化が見られ るため、全体的に 点検を行った。	歴史民俗資料館 について検討を 進め、大瀬戸青少 年研修所を移管 した。	314	大島文化ホールは、築後20年余を経過し、いたる所に老朽化がみられるため、全体的に調査点検をおこなった。今後、これをもとに、設計委託、施工を計画。	①・2・3	社会教育課
		小・中学校文化活 動支援事業	文化祭開催数 1回	文化祭開催数 1回	516	第8回西海市小・中学校総合文化祭が、平成26年10月23日(午前：小学校の部、午後：中学校の部)に大島文化ホールで開催され、音楽演奏発表、図工、美術作品展示があり、小学校関係、保護者、地域の大勢の観客が見守る中、盛会に終了した。	①・2・3	学校教育課
	文化団体の交 流活動の促進	全市的な文化祭等 の開催	3回 (総合文化祭1 回、展覧会1回、 音楽祭1回)	3回 (総合文化祭1 回、展覧会1回、 音楽祭1回)	—	西海市文化協会の育成、支援に努め、文化協会主催による第4回西海市文化祭(6月)、第3回西海市文化展(11月)を開催し、さらに文化協会加盟12団体の参加により第2回西海市民音楽祭(12月)を開催した。	①・2・3	社会教育課
		西海市文化協会の 加入促進	673人 (賛助会員含む)	622人 (賛助会員含む)	5,653	文化協会への加入を促進するため、会員を対象とした事業(芸術観賞ツアー、共催事業、広報紙・機関誌発行)を強化し、協会の魅力アップに努めた。新規会員の開拓のため、「公開講座2014秋」を開催した。	①・2・3	社会教育課

(2) 文化財の 保存・活用	文化財の公 開・研究	西海市歴史民俗資 料館のあり方等検 討委員会の設置	答申に基づく検 討結果の実施	答申に基づく検 討	1,103	答申を受け、平成26年度には西海・崎戸・大瀬戸の各歴史民俗資料館に収蔵している資料の台帳を作成（西海350点、崎戸871点、大瀬戸2450点余）し、併せて各館の収蔵資料の整理・把握を行った。	①・2・3	社会教育課
	文化財の保 存・活用	西海市史跡ガイド ブックの作成	第1版の活用	第1版の活用	1,878	平成24年度に作成した『西海市の文化財』を前年度に引き続き配布を行い、活用を図った。 また、配布と併せて4回の歴史講座（滑石製石鍋、江戸幕府の対外政策と角力灘、中浦ジュリアンの生涯、松島炭鉱と延べ約100名参加）、文化財説明板（白栄山泉浄寺、洲崎神社の社叢、八木原天満宮の社叢、面高遠照寺の寺宝、浅間神社「敬神」の額）の設置も行った。	①・2・3	社会教育課
		文化財の調査・研 究着手件数	2件 (炭鉱遺構・国指 定天然記念物「七 釜鍾乳洞」映像記 録)	2件 (炭鉱遺構・大瀬 戸歴史民俗資料 館収蔵資料)	2,131	平成26年度には、平成24年度より行われてきた炭鉱遺構等の調査をまとめた『西海市炭鉱遺構等調査報告書』を作成し、西海市内の炭鉱遺構の周知と併せ、市内に残存する遺構等の文化財としての評価を行った。本報告書は西海市内の各図書館(室)や資料館を始め、県内外の関係機関にも配布した。 また、国指定天然記念物「七釜鍾乳洞」の映像記録を制作した。制作には専門業者による撮影は勿論、専門家による指導・確認を行い、普及編(22分) 概要編(5分30秒)の計100枚のDVDを制作し、西海市内の学校や図書館・図書室(貸出可能)、県内市町等に配付した。	①・2・3	社会教育課
	地域伝統文化 の継承	伝統文化の記録・ 保存件数	13件 (累計)	13件 (累計)	0	新たな記録保存なし	1・2・③	社会教育課
(3) 活力ある スポーツ の振興	生涯スポーツ の推進	スポーツ教室等生 涯スポーツ事業の 開催数(年間)	小学生水泳教室、 一般及び高齢者 水泳教室、水中ア クアビクス教室、 体幹トレーニング 教室 計12回	小学生水泳教室、 シニア水泳大会、 アクアビクス、ス ポーツフェスタ、 生涯スポーツ講 習会 計6回	156	平成26年度は、大瀬戸プールにおいて、小学生を対象とした水泳教室、一般の水泳教室、水中アクアビクス教室を実施した。また、体育協会において体幹トレーニングを開催し、市民の健康増進と軽スポーツの普及に努めた。今後においても引き続き事業の啓発を行い、参加者増を目指す。	①・2・3	スポーツ振興課

	総合型クラブ設立 団体数	設立団体 1 団体 (累計)	設立団体 1 団体 (累計)	—	現在、大瀬戸地区に 1 団体設置し、陸上競技を中心に活動を行っている。春季・冬季計 2 回のクロスカントリー大会をメイン事業とし、月 1 回のスポーツ教室や夏季合宿に取り組んだ。今後も体育協会と連携し設置数の増加を目指したい。	1・②・3	スポーツ振興課
	クラブマネージャーの育成数	マネージャー数 1 人 (累計)	マネージャー数 3 人 (累計)	—	平成 23 年度からクラブマネージャー養成講習会が東京など都市圏のみの開催となったため、新規及び更新受講についての参加が厳しい状況となっている。数年に一度長崎もしくは近隣での講習会開催をお願いするなど、今後の課題となっている。	1・2・③	スポーツ振興課
スポーツ指導者の育成	ジュニアスポーツ指導者講習会 (年間)	開催数 6 回	開催数 4 回	—	平成 25 年度指導者講習会として、心肺蘇生法及び AED 講習会を体育協会と共同で実施した。	1・②・3	スポーツ振興課
	スポーツ指導者講習会への派遣回数 (年間)	派遣実績 なし	派遣回数 1 回	—	県や競技団体の講習会については、長崎がんばらば国体の開催年度までに計画的に実施されており、平成 26 年度は、これまでの受講研修の成果を競技役員等の従事で発揮する年度となった。	1・②・3	スポーツ振興課
	西海市スポーツリーダーバンク登録者数	未登録	未登録	—	長崎県スポーツリーダーバンクには 9 人登録しているが、西海市では本制度が確立されていない。今後は「生涯学習ボランティア人材バンク」との連携を図り、制度の整備に努める。	1・2・③	スポーツ振興課
	スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員会開催 10 回、 行事・教室参加 10 回、研修会参加 7 回	スポーツ推進委員会開催 9 回、 行事・教室参加 13 回、研修会参加 8 回	2,983	各種会議の開催、県民体操であるがんばらば体操の普及、さいかいシティーウォークの企画運営、各種スポーツ行事への協力及び研修会参加など、年間を通じて活発な活動ができた。今後も地域に根付いた自主的な活動を推進し、生涯スポーツによる活性化を図る。	①・2・3	スポーツ振興課
競技力の向上	西海市体育協会加盟団体数	加盟団体数 26 団体 (うち休部 4)	加盟団体数 23 団体 (うち休部 3)	—	競技団体加盟は、単協競技団体 21 団体 (うち休部 4)、地域総合型クラブ 1 団体、スポーツ少年団 4 団体の計 26 団体の状況である。今後も未加入団体への加盟促進を行うとともに、休部団体の再活動などを促進し、引き続き体育協会の組織強化を図るよう努める。	1・②・3	スポーツ振興課



		県民体育大会参加者数（年間）	—	県民大会 261人参加	—	平成26年度は、長崎がんばらんば国体の開催年により、県民体育大会は開催されなかった。なお、例年県民体育大会の選考大会となる市民スポーツ大会は本年度も実施され、計10競技に776名が参加した。	1・②・3	スポーツ振興課
		西海市体育協会補助金	加盟団体数 26団体 会員数 2,552人	加盟団体数 20団体 会員数 2,875人	9,309	体育協会加盟団体の総括的な育成推進が図られた。なお、平成26年度は長崎がんばらんば国体の開催により、各競技に選手及び競技役員として、多くの会員が活躍した。 また、ジュニア育成強化や軽スポーツの普及などにも力を入れており、生涯スポーツの推進に広く貢献した。	1・②・3	スポーツ振興課
		西海市ロードレース大会開催補助金	参加者数 737人	参加者数 732人	1,864	参加者増加の取り組みとして、第7回大会より創設した「ファミリークラス」や、インターネットによる申込受付などについては徐々に効果が出ている。 また、平成26年度は第10回の節目大会ということで、各クラス「10位賞」の設置や、観光協会と連携した一般観客の集客などに力を入れた大会となった。	1・②・3	スポーツ振興課
		西海市スポーツ大会出場補助金	補助対象 5件(18名)	補助対象 5件	180	本市の競技力向上事業として、九州大会以上の上位大会に代表として出場した競技者に対し、出場費の助成を行った。 なお、対象は市体育協会未加盟団体で、加盟団体には体育協会から同様の助成が行われ、平成26年度108件の実績となった。	①・2・3	スポーツ振興課
(4) スポーツ環境の充実	スポーツ施設の整備充実	体育施設整備計画に基づく施設整備進捗率	実施実績なし (全24件)	4件実施 16.6% (全24件)	—	平成26年度は長崎がんばらんば国体開催のため、施設整備計画に基づく大型整備事業については実施を見合わせた。 なお、整備計画とは別に施設維持のための修繕については、計60件9,242千円の実績となった。	1・②・3	スポーツ振興課
	スポーツの推進体制づくり	スポーツ情報の提供	提供回数 12回	提供回数 12回	—	広報、ウェブサイトを活用し、各種スポーツイベント等の開催情報や結果報告などの提供を行った。	①・2・3	スポーツ振興課
		スポーツ関係者情報交換会開催回数	未実施	未実施	—	近年、勝利至上主義によるジュニア層の練習への取り組みが問題となっており、指導者や保護者を含めた情報交換会を通じた指導が必要となってきた。今後、スポーツ推進委員、体育協会など関係機関と	1・2・③	スポーツ振興課

						のネットワークを構築してスポーツ活動の支援を行い、スポーツ関係者情報交換会・連絡会の開催に取り組む必要がある。		
国体の準備・開催	県民体操地域インストラクター育成	インストラクター数 5人	インストラクター数 2人(継続)	—		県民体操である「がんばらんば体操」を普及・指導するための地域インストラクターを、平成26年度は5名に増員した。各種イベント時の準備運動としての取り組みの他、地域や団体からもインストラクターの派遣要請があり指導を行った。	①・2・3	スポーツ振興課
	体操教室開催回数	開催数 27回	開催数 6回	—		長崎国体の競技種目の1つである新体操競技を普及させるために、関係競技団体と連携し、体操教室の開催に取り組んだ。その結果、平成25年より新体操のジュニアクラブ「さいかい新体操クラブ」も発足した。 本年度は市実行委員会開催の幼児体操教室が3回、ジュニアクラブの活動が24回の実績となり、幼児体操教室の参加人数は延323人となった。	①・2・3	スポーツ振興課
	長崎がんばらんば国体西海市実行委員会補助事業	総会：2回 宿泊衛生専門委員会 飲食専門部会：4回	総会：1回 常任委員会：1回 総務広報専門委員会：1回 競技式典専門委員会：2回 宿泊衛生専門委員会：1回 輸送交通・警備消防専門委員会：1回	128,096		長年に及び企画準備を行ってきた長崎国体は、デモスポ競技：1,112名、正式競技：7,753名の参加により、盛会裡のうちに無事終了することができた。 なお、競技関係者の尽力はもちろんであるが、運営の力となったボランティア、花いっぱい運動や応援旗の装飾、物販ブースでのおもてなし活動など多くの方々のご協力により、市民総参加で支えられた大会となった。	①・2・3	スポーツ振興課